

カーボンピークアウトを目指す中国の工業省エネ政策

中国工業情報化部、国家発展改革委員会、生態環境部など主要10部門は共同で2022年7月7日付け「工業領域のカーボンピークアウト実施方案」を公表し、国務院の関連部署及び全国の各省、自治区、直轄市人民政府に対して通知した。中国政府は国内のCO₂排出量を2030年までに減少に転じさせ、2060年までにCO₂排出量を実質的にゼロとするカーボンニュートラルの実現を目指す方針を表明している。そのために2030年までに単位GDP当たりのCO₂排出量を2005年比で65%以上削減するとの目標が示された。¹

「工業領域のカーボンピークアウト実施方案」の基本方針として、第14次5ヵ年計画期間(2021年～2025年)内に産業構造の低炭素化とグリーン化の転換を加速化させて、エネルギー使用の効率を大幅に引き上げることを目指す。そのために、以下のような具体的目標を挙げた。

- (1) 第14次5ヵ年計画期間末である2025年までに一定規模以上の工業企業単位付加価値当りのエネルギー使用量を2020年対比で13.5%低下させる。
- (2) 同期間における工業部門の単位付加価値当りのCO₂排出量が社会全体の平均CO₂排出量の削減率を上回るようにする。
- (3) 重点業界におけるCO₂排出量の大幅な低減化を達成する。

図. 中国の2005年(基準年)から2030年のGDP当りCO₂削減目標



出所：国家発展改革委員会「中国の自主的削減目標NDC」にもとづき日本テピア作成

¹ 「工业和信息化部 国家发展改革委 生态环境部关于印发工业领域碳达峰实施方案的通知」
(http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2022-08/01/content_5703910.htm)

工業分野省エネ推進の「重点業界」として、鉄鋼、石油化学、非鉄金属精錬、建材製造等の CO₂ 排出量の大きい業界を指定し、優先順位に従って計画的に工程技術や製造設備の省エネグレードアップ改造を行い、エネルギー消費効率の引き上げと CO₂ 排出量の削減を着実に実施していくべきであるとしている。

その他、2025 年までの省エネ対策の措置を強化する「重点領域」として、データセンター、通信基地局、通信機器ルームの 3 つを指定した。中国政府は次世代通信規格である 5G 技術の開発を国家戦略として推進しており、データトラフィック量の増加に伴いデータセンターの電力消費が今後も大きく増加していくことが見込まれている。省エネに配慮した国家グリーンデータセンターを整備していく計画が打ち出され、グリーンデータセンターとしての設計や運営及びエネルギー消費状況の審査を行い、優れた取り組み事例を取りまとめていく方針が示された。

中国政府が 2021 年 3 月に公表した「中国国民経済社会発展第 14 次 5 ヶ年計画及び 2035 年までの長期目標綱要」は、社会における生活様式やエネルギー使用のあり方について全面的にグリーン化の方向へ転換し、環境汚染物質や CO₂ の排出をなくして中国の社会経済の高品質な発展と環境保護を高い水準で両立させることを計画目標として掲げている。2021 年 2 月 8 日から 10 日に北京で開催された中央経済工作会議において、2030 年のカーボンピークアウト及び 2060 年までのカーボンニュートラルの 2 つの目標（『双控目標』）を達成するために、従来の「省エネと汚染物質」の抑制を図ることから「省エネと CO₂ 排出」を抑制する方向へと 2 つの目標の中味を転換することが確認された。

中国における工業部門の省エネ化の取組みはエネルギー使用効率を徹底的にグレードアップさせる量的なチャレンジにとどまらず、化石エネルギーから再生可能エネルギーなどの非化石グリーンエネルギーへの質的な転換を進めていく方向へと明確に舵が切られた。かつて石炭火力発電がエネルギーミックスの 8 割以上を占め、大気汚染などの環境問題に苦しんだ中国が、今やグリーンエネルギー大国として世界をリードしようとしている。

(高木正勝)